

さわらび療育福祉センターの現状について

令和6年8月30日

青森県健康医療福祉部
障がい福祉課

1. さわらび療育福祉センターの沿革

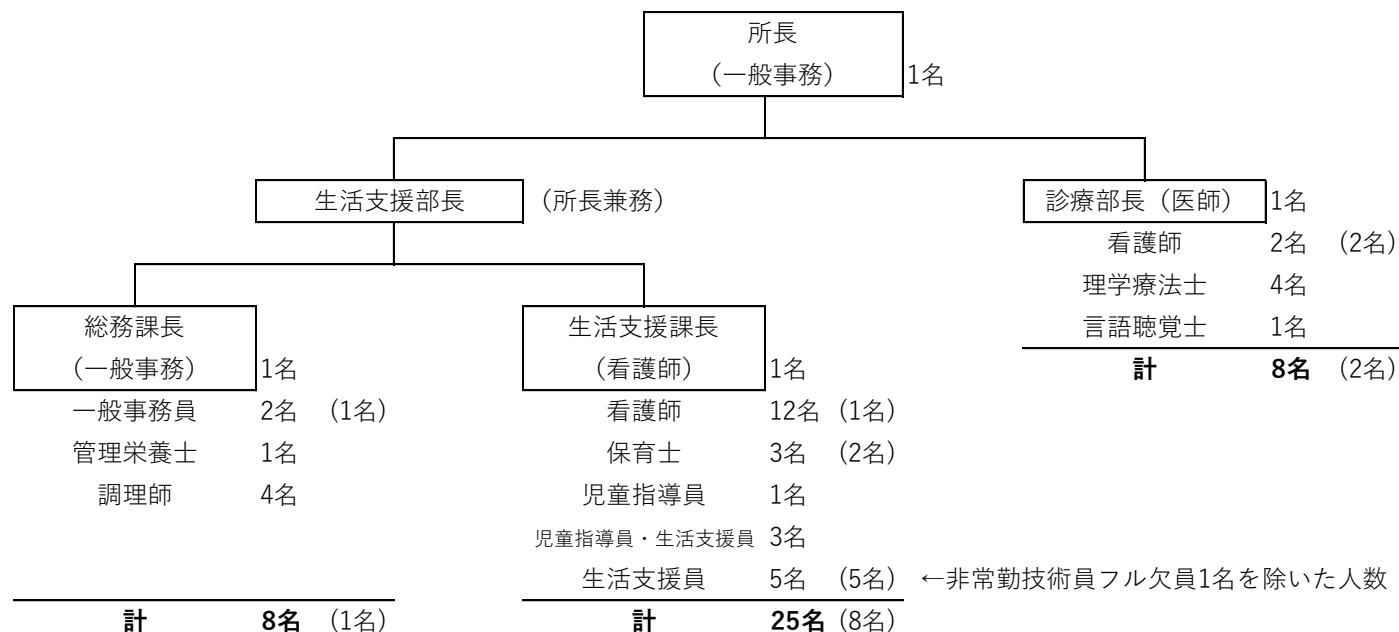
年 月	内 容
昭和45年 9月	県立さわらび園開設、肢体不自由児重度棟 30床承認
昭和48年 4月	青森県立弘前養護学校さわらび分教室を園内に設置
昭和56年 4月	さわらび分教室を青森県立弘前養護学校さわらび分校に改称
昭和57年 2月	さわらび分校が青森県立弘前第二養護学校に昇格
平成18年 4月	重症心身障害児（者）施設へ全面転換し、県立さわらび医療療育センターに改称
平成22年1月 ～ 平成23年1月	青森県療育機能検討会議（全5回）の開催結果に基づき、あすなろ医療療育センターが有床診療所を併設した福祉施設へ転換するとともに、本センターも無床診療所を併設した福祉型施設へ移行する方針とされた。
平成24年 4月 ～ 平成26年 3月	施設内部を全面改修するとともに、新たに通所棟を整備（H25.4.11新築）
平成26年 4月	福祉型障害児入所施設及び障害者支援施設（生活介護、施設入所支援）に移行、施設の名称を県立さわらび療育福祉センターに改称、障害児通所支援事業開始、無床診療所に転換

2. 施設の概要

所在地
・
土地
・
建物

- ①所在地 弘前市大字中別所字平山 1 6 8
 ②土地 13,921.69㎡
 ③建物
- ・管理・診療棟、入所棟 2,034.20㎡ ← 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建
 - ・通所棟 610.74㎡ ← 鉄骨造陸屋根平家建
 - ・車庫及び倉庫 84.00㎡ ← 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

職員



※ カッコ内は非常勤職員の数

【計42名】

このほか、応援医師（非常勤）2名、警備員（委託）3名、医事会計員（委託）2名、清掃業務員（委託）3名、ボイラー技能員（委託）2名、洗濯業務員（委託）2名。

3. 施設・設備等の状況

(1) 施設の状況

(老朽化)

- ・昭和45年の設置から54年が経過し、老朽化が著しい。(ただし、平成26年に新築した通所棟は新しい。)
- ・浴室はじめ入所棟各室や機能訓練室は肢体不自由児施設設置当初のスペースのため狭小である。
- ・壁の亀裂がいたるところで認められる。
- ・床の傾きがいたるところで認められる。(車いすのブレーキが掛けられていないと緩やかに動き出す場所もある。)



機能訓練室

(2) 設備の状況

(老朽化)

- ・水道、蒸気の配管が老朽化している。
- ・給水のための加圧ポンプが耐用年数を大幅に超えている。(故障した場合は修繕ができない。)
- ・診療棟ボイラーの出力が低下しており、冬季の室内温度管理が難しい。(診療棟廊下や機能訓練室の温度管理が難しい。)

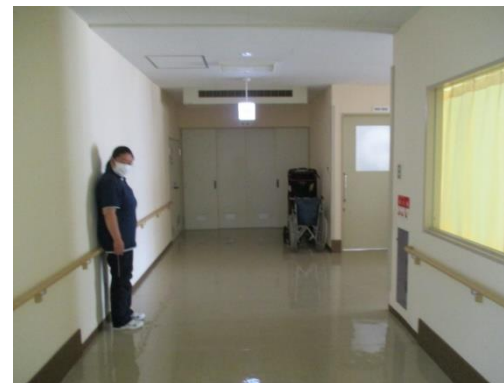
(3) 立地条件

(弘前市内中心部から遠いことによる不利益)

- ・通院に時間がかかるため、体力のない未就学児の通院が難しい。
- ・入所者の他医療機関の受診や救急搬送に時間がかかる。(救急車の到着まで20分以上、搬送先到着まで最短で30分以上かかる。)
- ・スタッフの確保が難しい。

(自然環境)

- ・冬期間は、天候不順や除雪の有無により通院・通所が困難となる。
- ・アブや蜂、蛾、ムカデなど害虫の施設侵入が多く、利用者が刺されるなどの危険がある。



管理棟通路(手前から奥に傾いている。)

4. サービス内容と利用状況

サービスの種類		サービスの内容	定員
診療部門	外来診療児童（者）	内科	—
		整形外科	—
		訓練（リハビリテーション）	—
障がい者支援部門	施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。	20
	生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する。	20
	短期入所（福祉型）	在宅の障がい児者を介護を行う者の疾病、事故、その他やむを得ない理由及び私的理由により一時的に家庭において介護することに困難が生じたときに援護する。	2
	日中一時支援（児・者）		—
障がい児支援部門	福祉型障がい児入所施設	施設に入所している障がい児に対して、保護、日常生活の指導及び知識技能の付与を行う。	5
	児童発達支援	主に未就学児童に対し、「児童発達支援計画」に基づき、自由活動（あそび）、個別教育、集団療育、生活自立支援等を提供する。	10
	放課後等デイサービス		

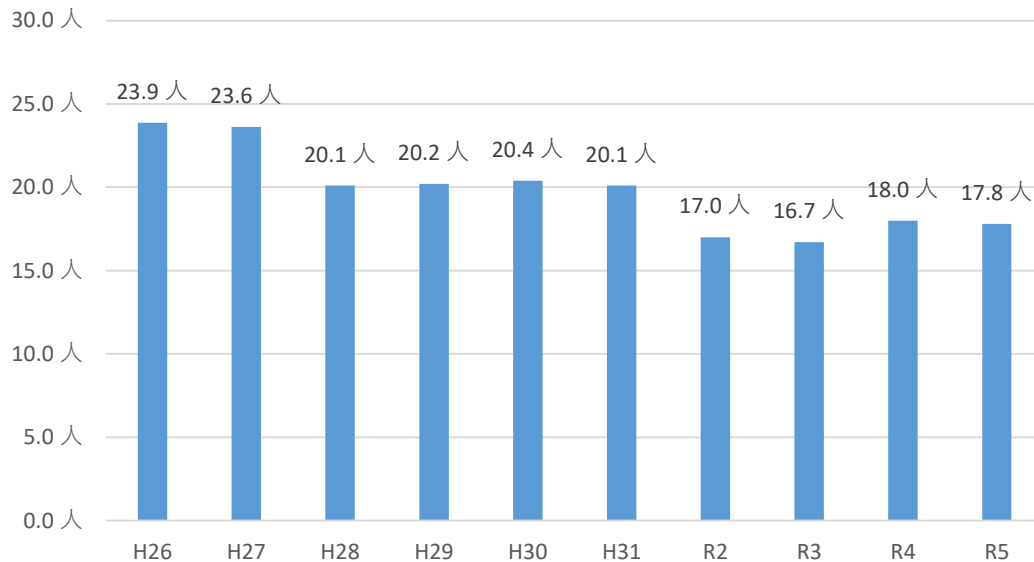
5. 診療科の状況

内科	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 週5日（月～金曜日）。 ▪ 外来診療、一般的処置、理学療法、言語聴覚療法、摂食・嚥下訓練の指示及び療育相談、障がい者の診断書作成を実施している。
整形外科	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 毎月2回、水曜日の午後（予約制）。 ▪ 療育相談・補装具及び障がい者の診断書作成を実施している。
訓練 （リハビリテーション）	<p>（理学療法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 運動発達の促進、ポジショニング、関節可動域訓練、ストレッチ訓練、筋力強化訓練、上肢リーチ及び巧緻性訓練、日常生活動作訓練、評価。 ▪ 補装具等の相談（車椅子、座位姿勢保持装置、日常生活用具）。 <p>（言語聴覚療法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 読む、聞く、話す、書く等の機能訓練。 ▪ コミュニケーション障がいに対する訓練及び器機の相談。 ▪ 摂食・嚥下障がいの評価と訓練。

6. 診療部門の利用人数

①内科・整形外科（新患＋再来）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均（新患＋再来）	23.9人	23.6人	20.1人	20.2人	20.4人	20.1人	17.0人	16.7人	18.0人	17.8人
延べ人数（新患＋再来）	5,825人	5,740人	4,884人	4,856人	4,848人	4,699人	2,960人	3,867人	4,171人	3,822人



【現状】

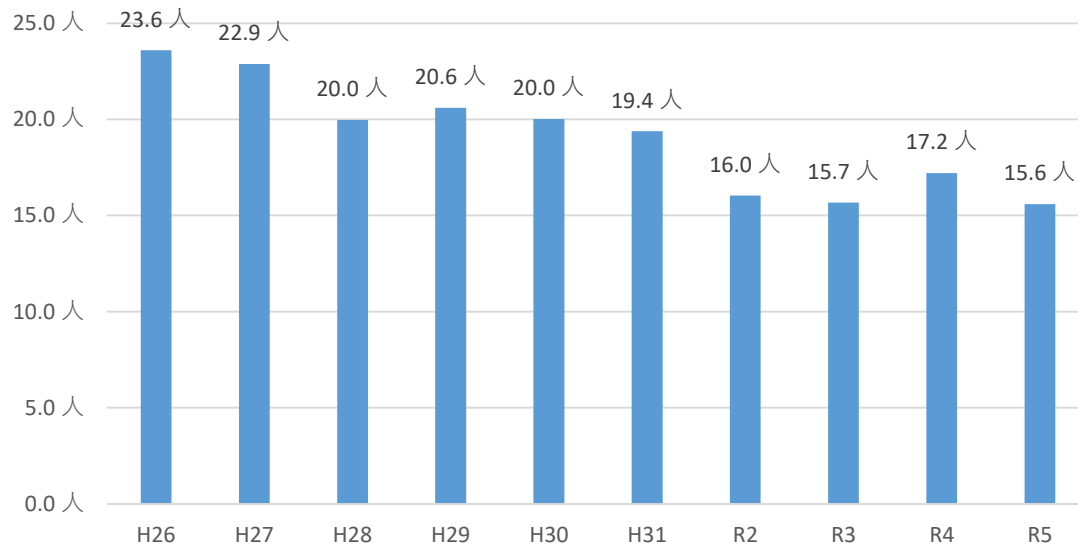
・令和2年度以降はコロナ禍の影響により休診が増えたことから、利用者は減少している。

・リハビリを前提とした診察が多い。

6. 診療部門の利用人数

②リハビリテーション

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	23.6人	22.9人	20.0人	20.6人	20.0人	19.4人	16.0人	15.7人	17.2人	15.6人
延べ人数	5,755人	5,560人	4,853人	4,944人	4,763人	4,534人	3,753人	3,651人	4,009人	3,631人



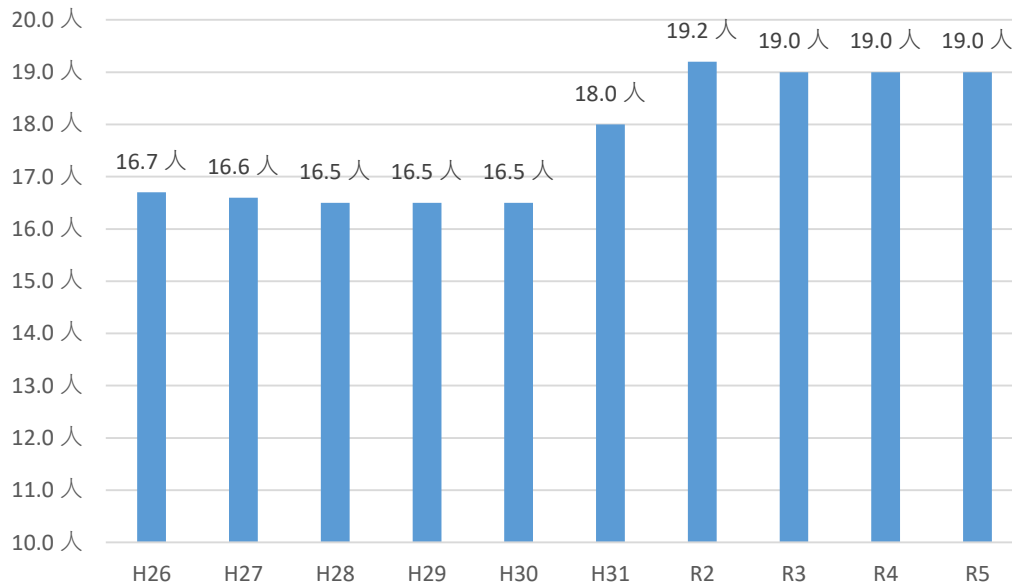
【現状】

・令和2年度以降はコロナ禍の影響により休診が増えたことから、利用者は減少している。

7. 福祉部門（障がい者支援部門）の利用人数

①施設入所支援（定員：20名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	16.7人	16.6人	16.5人	16.5人	16.5人	18.0人	19.2人	19.0人	19.0人	19.0人
延べ人数	6,129人	6,065人	6,023人	6,032人	5,999人	6,588人	7,018人	6,935人	6,935人	6,954人



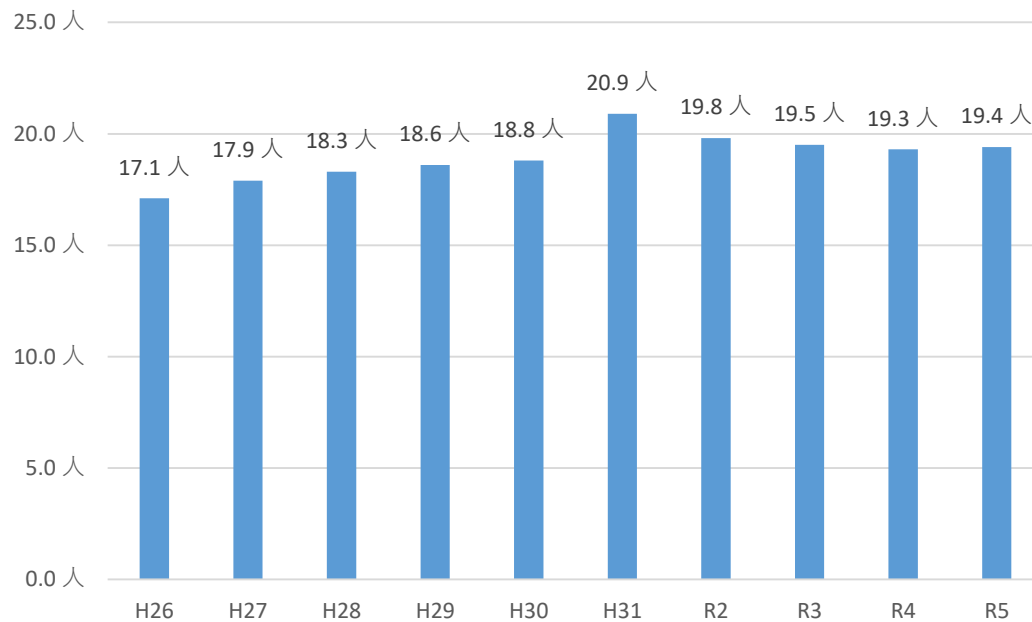
【現状】

- ・平成31（令和元）年度から定員を24人→20人に変更した。
- ・令和2年度以降は定員近くまでの利用となっている。

7. 福祉部門（障がい者支援部門）の利用人数

②生活介護（定員：20名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	17.1人	17.9人	18.3人	18.6人	18.8人	20.9人	19.8人	19.5人	19.3人	19.4人
延べ人数	4,150人	4,340人	4,452人	4,531人	4,589人	4,982人	4,799人	4,697人	4,677人	4,686人



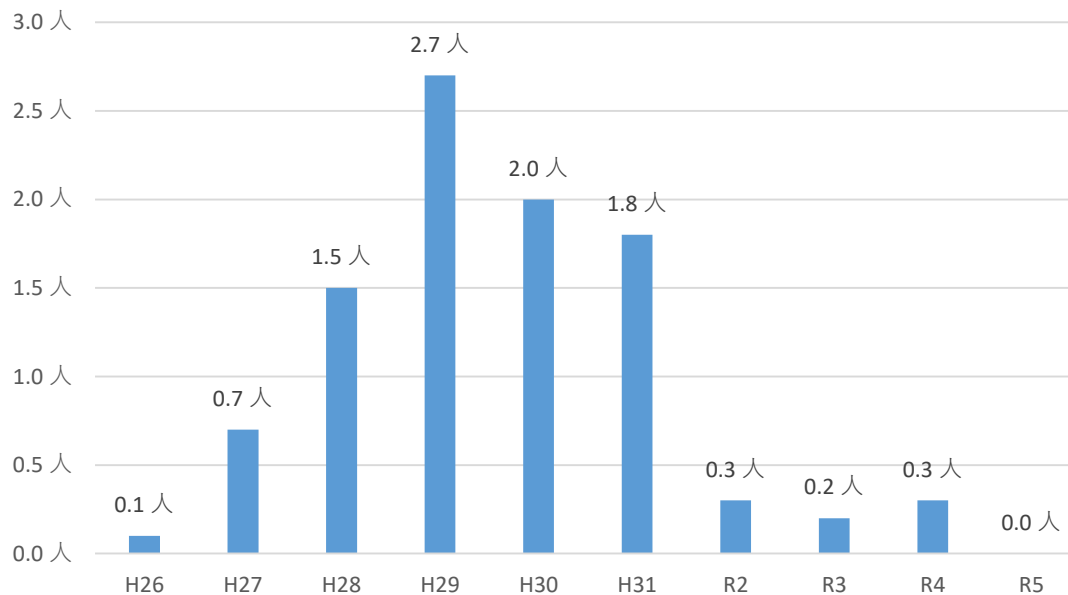
【現状】

- ・平成31（令和元）年度から定員を26人→20人に変更した。
- ・施設入所者へのサービス提供が大半を占めている。

7. 福祉部門（障がい者支援部門）の利用人数

③短期入所（福祉型、定員：2名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	0.1人	0.7人	1.5人	2.7人	2.0人	1.8人	0.3人	0.2人	0.3人	0.0人
延べ人数	15人	287人	554人	968人	729人	643人	127人	78人	95人	12人



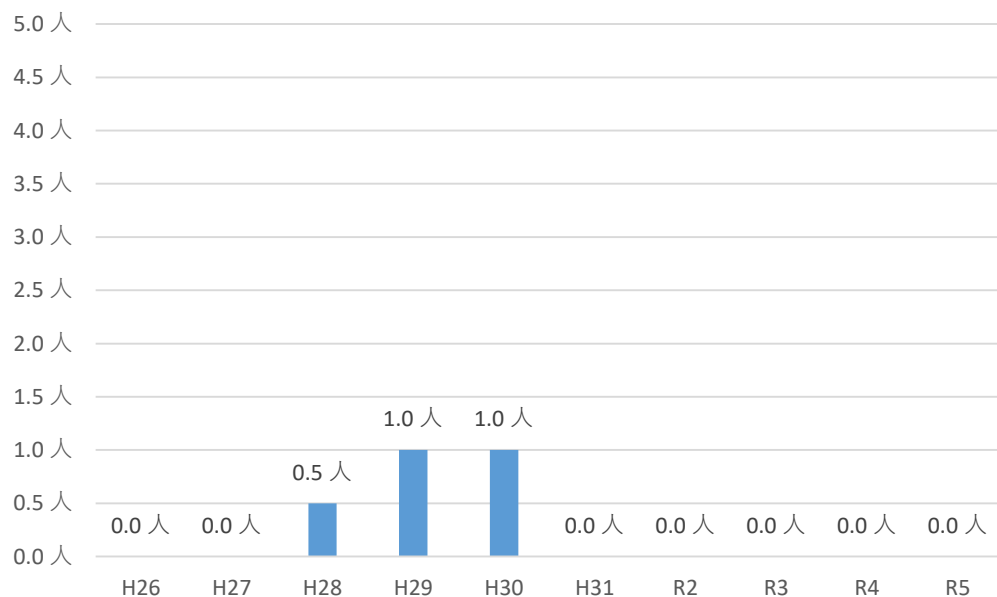
【現状】

・令和2年度以降はコロナ禍の影響により利用を制限してきた。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

①福祉型障がい児入所施設（定員：5名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	0.0人	0.0人	0.5人	1.0人	1.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
延べ人数	0人	0人	169人	365人	358人	0人	0人	0人	0人	0人



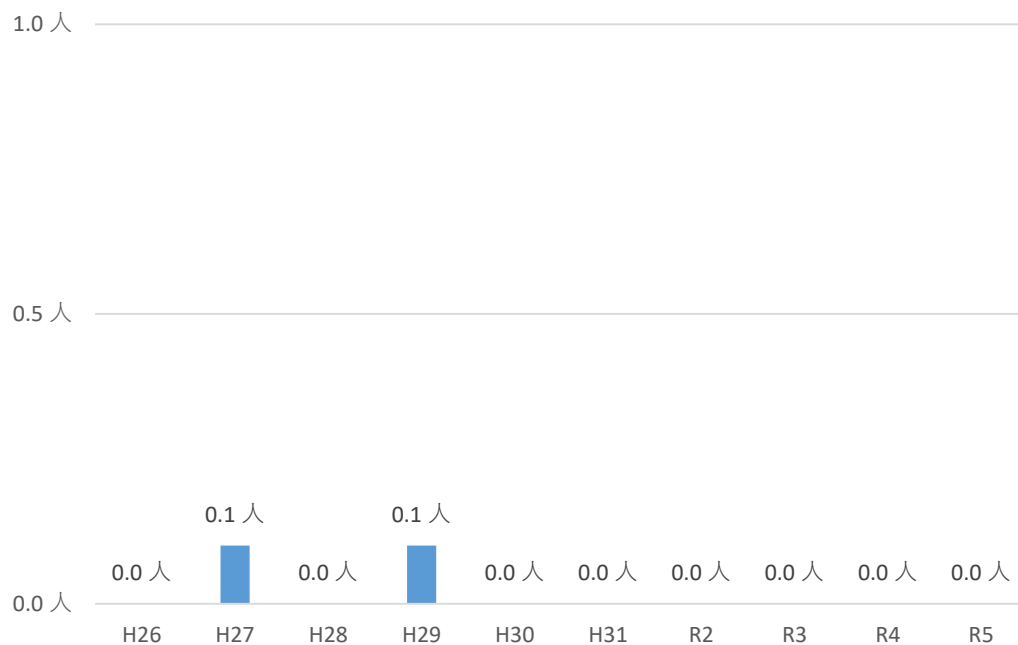
【現状】

・平成31（令和元）年度以降、入所者は0人で推移している。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

②児童発達支援（定員：③と併せて10名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	0.0人	0.1人	0.0人	0.1人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
延べ人数	0人	42人	0人	13人	0人	0人	0人	0人	0人	0人



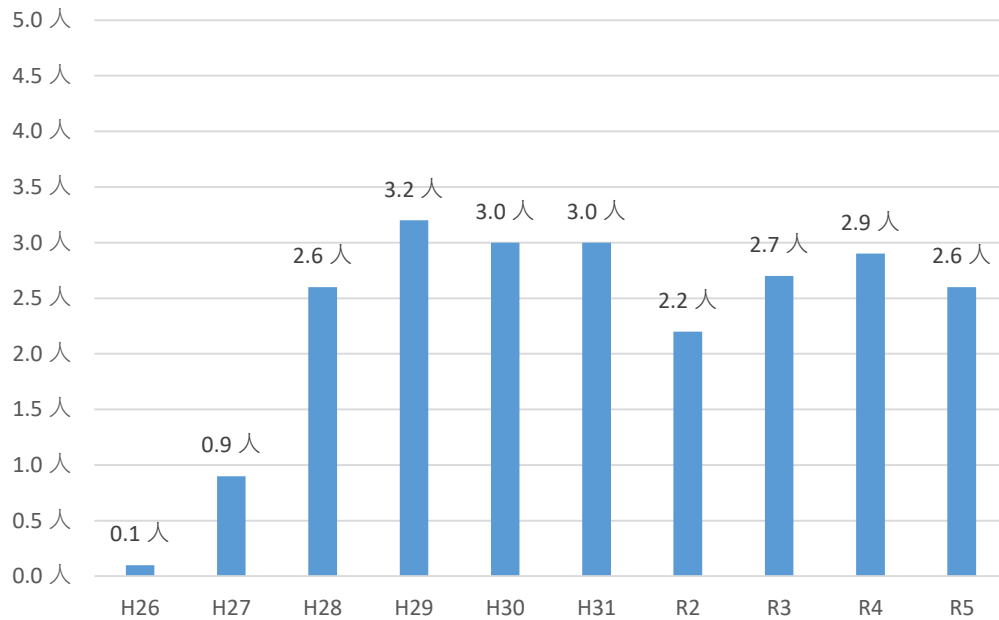
【現状】

・平成30年度以降、利用者は0人で推移している。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

③放課後等デイサービス（定員：②と併せて10名）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	0.1人	0.9人	2.6人	3.2人	3.0人	3.0人	2.2人	2.7人	2.9人	2.6人
延べ人数	17人	234人	622人	789人	724人	721人	531人	619人	694人	577人



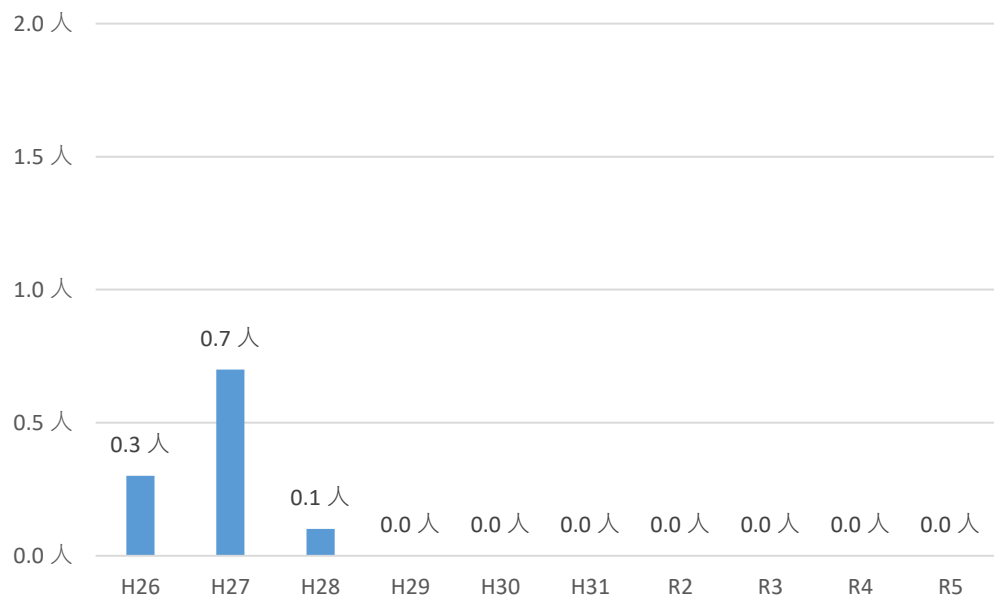
【現状】

・平成28年度以降、概ね1日平均2～3人で推移している。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

④日中一時支援（児童）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	0.3人	0.7人	0.1人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
延べ人数	96人	190人	17人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0人	0.0人



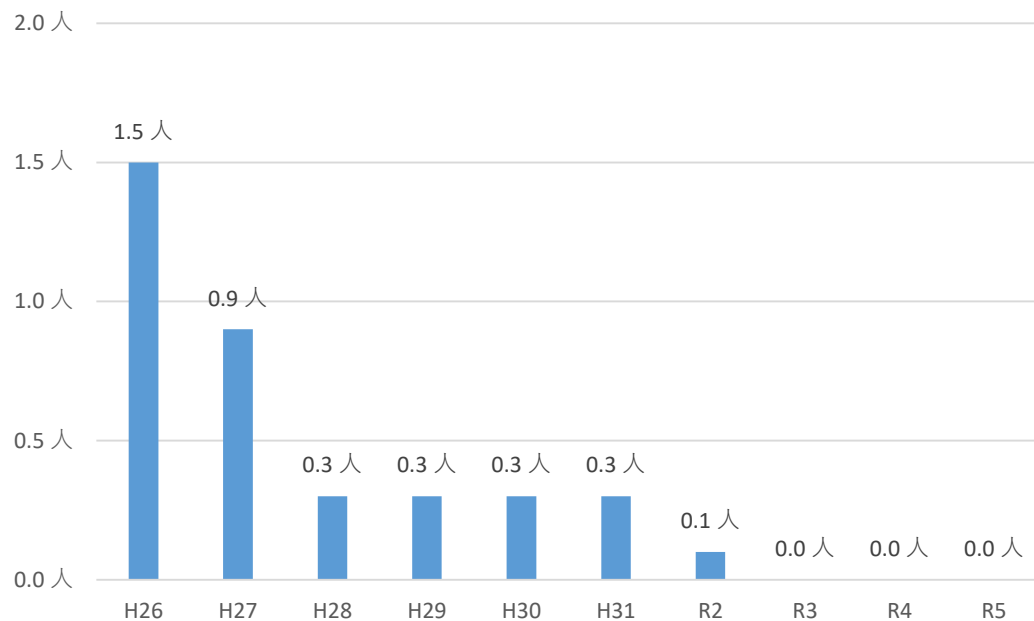
【現状】

・平成29年度以降、利用児童は0人で推移している。

8. 福祉部門（障がい児支援部門）の利用人数

⑤日中一時支援（者）

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1日平均	1.5人	0.9人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.1人	0.0人	0.0人	0.0人
延べ人数	370人	234人	79人	74人	81人	66人	16人	0人	0.0人	0.0人



【現状】

・令和3年度以降、利用者は0人で推移している。

9. 経営状況

これまでの主な対策	現 状（令和元年度～令和5年度）																											
<p>【歳入】</p> <p>①市町村等との連携により在宅児者のリハビリ訓練等の利用促進に努める</p> <p>②弘前第二養護学校の卒業生の特性に応じた適時適切な支援の実施</p>	<p>○これまでの収入実績を踏まえ、施設入所支援(者)、福祉型障がい児入所施設など、各種障がい福祉サービス等の利用者数について、実現可能性が高い目標値を設定し、取り組みを行ったものの、新型コロナウイルス感染症等の影響により計画通りの利用者確保に至らなかった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画目標 A</th> <th>決算 B</th> <th>比較 B/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>156,663 千円</td> <td>147,039 千円</td> <td>93.86%</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>157,502 千円</td> <td>141,068 千円</td> <td>89.57%</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>163,729 千円</td> <td>137,499 千円</td> <td>83.98%</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>171,306 千円</td> <td>139,247 千円</td> <td>81.29%</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>171,306 千円</td> <td>138,087 千円</td> <td>80.61%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A	R 1	156,663 千円	147,039 千円	93.86%	R 2	157,502 千円	141,068 千円	89.57%	R 3	163,729 千円	137,499 千円	83.98%	R 4	171,306 千円	139,247 千円	81.29%	R 5	171,306 千円	138,087 千円	80.61%
年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A																									
R 1	156,663 千円	147,039 千円	93.86%																									
R 2	157,502 千円	141,068 千円	89.57%																									
R 3	163,729 千円	137,499 千円	83.98%																									
R 4	171,306 千円	139,247 千円	81.29%																									
R 5	171,306 千円	138,087 千円	80.61%																									
<p>【歳出】</p> <p>①運転手を1名減として公用車での送迎を民間委託。</p> <p>②看護助手1名を正職員から会計年度任用職員へ変更。</p> <p>③管理費の節減等</p>	<p>○管理費については、概ね実施計画の水準に基づき執行しているものの、人件費については、給与改定等の影響により計画を上回り推移した結果、R4及び5は計画を上回る結果となった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画目標 A</th> <th>決算 B</th> <th>比較 B/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>368,489 千円</td> <td>364,615 千円</td> <td>98.95%</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>366,907 千円</td> <td>361,660 千円</td> <td>98.57%</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>365,024 千円</td> <td>364,276 千円</td> <td>99.80%</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>367,322 千円</td> <td>368,474 千円</td> <td>100.31%</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>368,764 千円</td> <td>374,748 千円</td> <td>101.62%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A	R 1	368,489 千円	364,615 千円	98.95%	R 2	366,907 千円	361,660 千円	98.57%	R 3	365,024 千円	364,276 千円	99.80%	R 4	367,322 千円	368,474 千円	100.31%	R 5	368,764 千円	374,748 千円	101.62%
年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A																									
R 1	368,489 千円	364,615 千円	98.95%																									
R 2	366,907 千円	361,660 千円	98.57%																									
R 3	365,024 千円	364,276 千円	99.80%																									
R 4	367,322 千円	368,474 千円	100.31%																									
R 5	368,764 千円	374,748 千円	101.62%																									
<p>【繰入金】</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症等の影響により、歳入について計画目標の達成が困難であったことから、繰入金が増加した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画目標 A</th> <th>決算 B</th> <th>比較 B/A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>211,826 千円</td> <td>217,576 千円</td> <td>102.71%</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>209,405 千円</td> <td>220,592 千円</td> <td>105.34%</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>201,295 千円</td> <td>226,777 千円</td> <td>112.66%</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>196,016 千円</td> <td>229,227 千円</td> <td>116.94%</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>197,458 千円</td> <td>236,661 千円</td> <td>119.85%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A	R 1	211,826 千円	217,576 千円	102.71%	R 2	209,405 千円	220,592 千円	105.34%	R 3	201,295 千円	226,777 千円	112.66%	R 4	196,016 千円	229,227 千円	116.94%	R 5	197,458 千円	236,661 千円	119.85%
年度	計画目標 A	決算 B	比較 B/A																									
R 1	211,826 千円	217,576 千円	102.71%																									
R 2	209,405 千円	220,592 千円	105.34%																									
R 3	201,295 千円	226,777 千円	112.66%																									
R 4	196,016 千円	229,227 千円	116.94%																									
R 5	197,458 千円	236,661 千円	119.85%																									